

令和元年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

(R2. 3/4~3/31 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館)

資料1

事業名	課題	目標	実施項目	3月末総括	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 児童館図書室の環境整備	児童館職員だけでは徹底した書架構築ができない	青少年児童センターでの年間貸出数1000冊	<p>1.司書が選書した本を団体貸出し、対象年齢別など、読者層に応じた棚配置等を行う。</p> <p>2.図書館が作成した本のPOPを児童館へ提供する。(年1回程度)</p> <p>3.図書室利用状況は、貸出数で把握するため、青少年児童センターを含めた全児童館で集計・分析した結果を基に選んだ図書を貸出す。</p>	<p>【検証】</p> <p>4館(市が洞、南、上郷、西)で、団体貸出入替(各200冊)を実施した。また、青少年児童センターでは1階プレイルームにも30冊の館内利用の本を入替えた。</p> <p>2館(青少年児童センター、下山)で、児童館の本の除籍選定を実施した。また、青少年児童センターでは本の配置入替も実施し、12月から館内利用数を集計した。</p> <p>下山児童館移設のため、団体貸出本の回収をした。令和2年度以降に施設が整ったところで、改めて団体貸出を行う予定。</p> <p>【成果】</p> <p>本にPOPを付けて配架することで、本を手にとる子どもが増えたと報告があった。古い本や損傷のある本を中心に、除籍選定をし、書架を整備することで、利用しやすい環境を整えることができた。</p> <p>青少年児童センターでの貸出冊数は3月までの累計が656冊であり、目標冊数を下回っている。ただし、館内利用集計値は初回で101冊に達し、3月の臨時休館中には、児童クラブ利用者による児童館内での本の利用が多かった。また、中学生の利用を踏まえ、中央図書館から中学生向け図書約80冊を寄贈し、充実化した。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>青少年児童センターでの貸出冊数は昨年より減少しており、新たに始めた集計方法の結果を基に、利用状況の把握と対策を令和2年度も検討する必要がある。</p>	<p>青少年児童センターの貸出数 累計と検証(毎月)</p> <p>71冊(5冊) 66冊(5冊) 110冊(9冊) 93冊(15冊) 62冊(28冊) 45冊(5冊) 47冊(11冊) 54冊(17冊) 48冊(3冊) 60冊(5冊) 50冊(3冊) 0冊(0冊)</p> <p>※上段は全数、下段は図書館提供本の貸出冊数</p> <p>市が洞児童館 団体貸出入替7/2</p> <p>南児童館 団体貸出入替7/17</p> <p>青少年児童センター 除籍本選定等9/18,19</p> <p>上郷児童館 団体貸出入替9/26</p> <p>下山児童館 除籍本選定作業11/12</p> <p>西児童館 団体貸出本回収2/13</p> <p>団体貸出入替3/10</p>	累計656冊(103冊)	第2次子ども読書活動推進計画 基本目標Ⅱ-2-(2)										
2 本の展示の実施	蔵書の魅力を伝える機会が少ない	本の展示企画を年間19回開催	<p>1.図書館員によるオリジナルな展示の企画。</p> <p>2.閉架の図書も展示図書に組み込む。</p> <p>3.選定したテーマに基づき本を専用スペースに2ヶ月単位で展示。</p> <p>4.展示本の位置情報を変更入力処理し、利用者が手に取りやすくする。</p> <p>5.貸出統計値を集計・分析し、収集や次期企画に応用する。</p>	<p>【検証】</p> <p>館内4か所(利用者の目に留まりやすい出入口やカウンターの近くと、児童書コーナーの中心)に展示図書コーナーを設置し、テーマに基づいた本を展示した。</p> <p>設置期間はおおむね2ヶ月とし、出版年にこだわらずテーマに合った展示に相応しい本を選定した。</p> <p>【成果】</p> <p>3月までに29回の展示を実施し、貸出合計は8,551冊で(他課等との連携分も含む)、昨年度実績6,746冊から増加した。</p> <p>閉架書庫の本など普段利用が少ない本は、閉架で期間限定の展示をすることで興味を引くことができ、貸出の活性化につながった。</p> <p>季節や時事に合わせたテーマの貸出数が多いため、その方法論は継続する。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>より利用につながるテーマや展示本を選定するための、選書・情報収集能力、時事など社会的な知識の向上。</p>	<p>棚27番 棚27番(南玄関) 棚27番 棚27番</p> <p>棚24番 棚24番(カウンター前) 棚24番 棚24番</p> <p>棚19番 棚19番(児童書架) 棚19番 棚19番</p> <p>北玄関棚 北玄関棚 北玄関棚 北玄関棚</p> <p>開催件数 29回(3月末現在)</p>		教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進										
3 不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数減らす。(前年度175冊、目標150冊)	<p>1.不明化傾向に基づく本の配置換え(随時)。</p> <p>2.本にマーキング(館所蔵を表示)</p> <p>3.職員巡回による抑止力強化(1日2回程度)</p> <p>4.持ち出し発生書架に警告表示</p> <p>5.防犯カメラ等の表示貼替え(年3~4回)</p>	<p>【検証】</p> <p>毎月の本の持ち出し状況を調査し、持ち出しの発生した書架に警告表示を設置した。</p> <p>職員や委託業者による巡回や、防犯カメラ等の表示で色あせたものを取り替えるなどして、持ち出しの抑止力強化につながった。</p> <p>【成果】</p> <p>10月に実施した蔵書点検の結果、不明本は124冊であり、目標の150冊を下回った。蔵書点検後の毎月の不明本は減少している。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>人の手による「目に見える」対策が効果的であるが、新たな対策の思案に苦慮している。</p>	<p>不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示)</p> <p>職員等による閲覧室巡回</p> <p>防犯カメラ等の表示貼替え</p> <p>黄ばみ等の点検、位置変更など</p> <p>集計と検証(毎月)</p> <p>2冊 6冊 1冊 3冊 3冊 4冊 3冊 1冊 1冊 1冊 3冊 0冊</p>												

利用状況

(H31. 4. 1～R2. 3. 31)

【貸出基準】

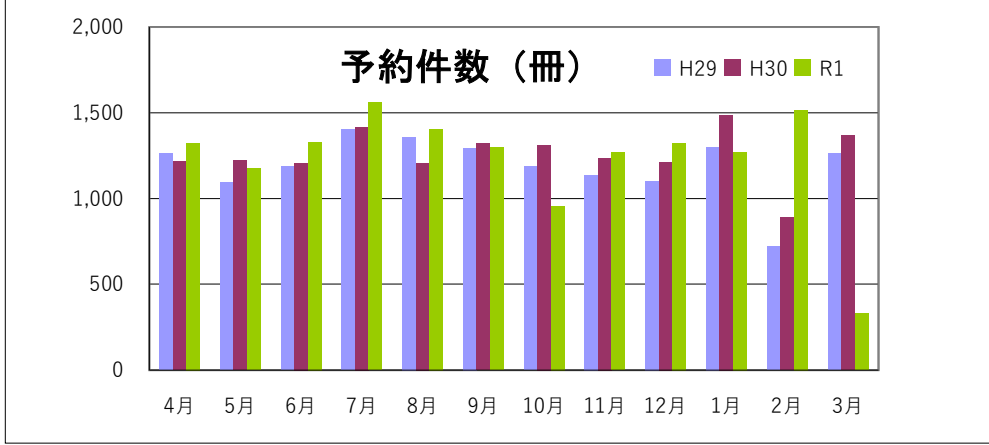
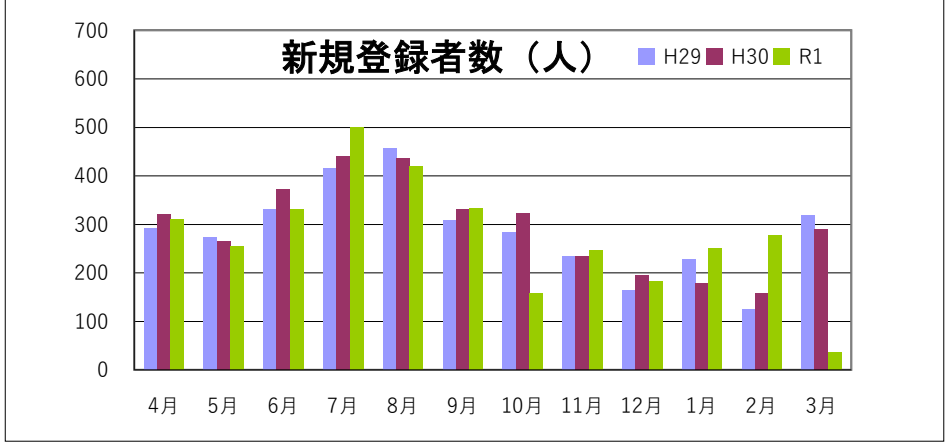
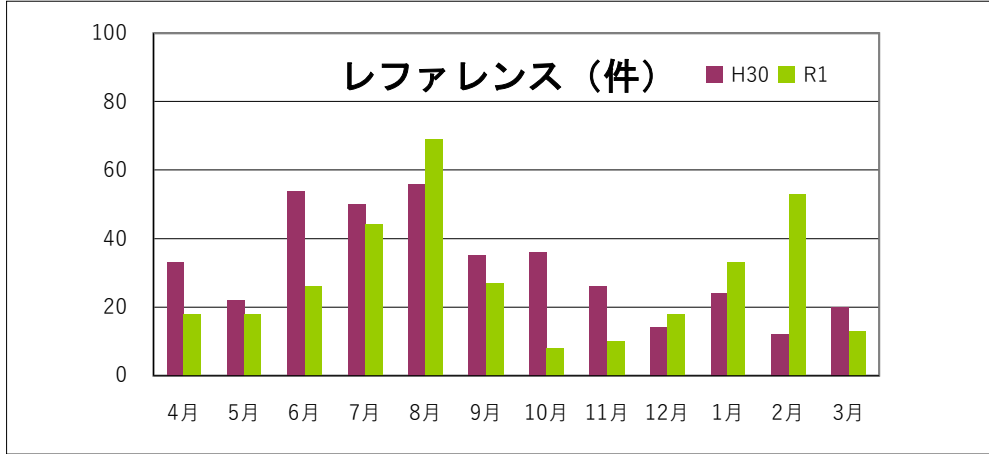
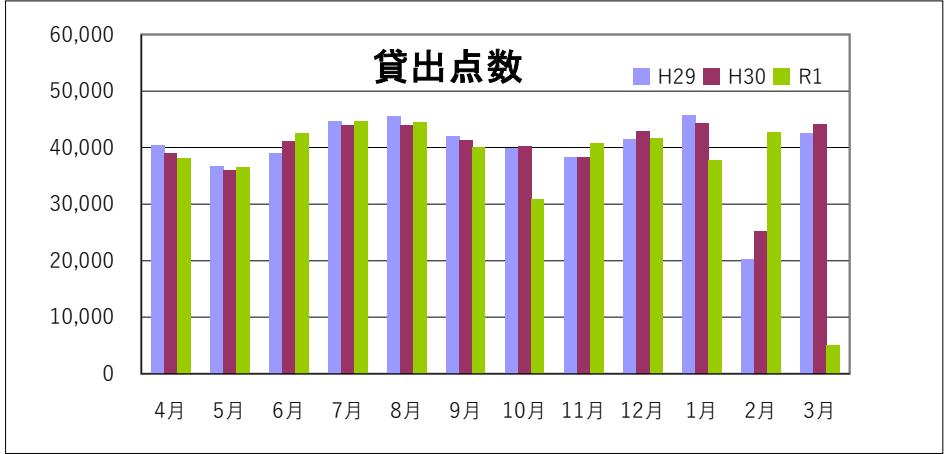
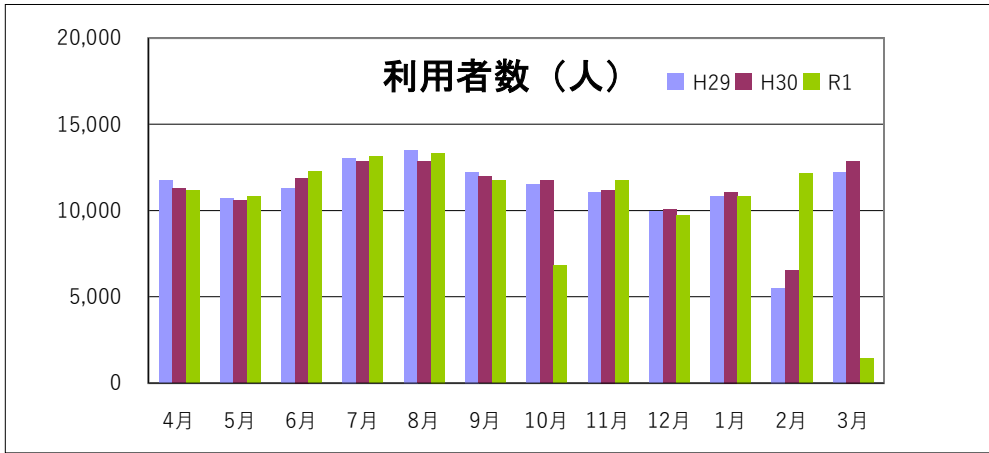
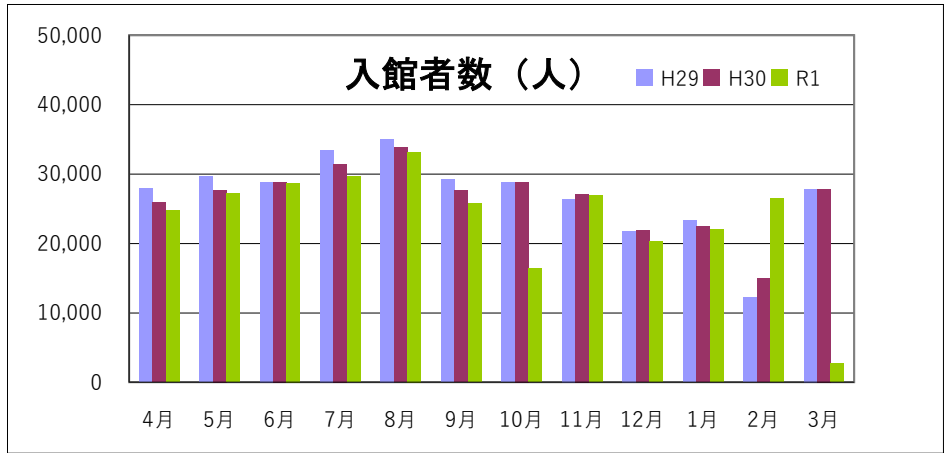
対象：市内在住、在学、在勤、在園者及び名古屋市名東区、名古屋市守山区、瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市在住者

点数：図書・雑誌・紙芝居 あわせて5点まで2週間 視聴覚資料2点まで2週間

【説明】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、3/4（水）から臨時休館措置（R2.5月末まで）をとったため、前年度よりも開館日数が15日減となり、全体の統計値に影響が及んだ。
- ・入館者数は前年度比2%減。5時以降の入館者数も減少している。予約件数は前年度比7%増。新規登録者数は微増。
- ・貸出点数は微増であるが、視聴覚資料（16%減）と紙芝居（18%減）の貸出点数が前年度比で減少した。

	R1年度													H30年度		増減率		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均	合計		一日平均	
開館日数	25	25	25	25	26	24	14	26	22	22	24	2	260					
蔵書購入冊数	449	988	729	576	644	951	1,032	513	944	758	992	499	9,075					
入館者数	24,821	27,259	28,730	29,619	33,197	25,779	16,383	26,970	20,322	22,080	26,515	2,705	284,380	1,094	318,653	1,118	-2%	
うち5時以降入館者数	1,688	1,810	2,032	2,530	2,499	1,621	1,483	1,958	1,624	1,562	1,514	132	20,453	79	24,918	87	-10%	
貸出利用者数	11,138	10,806	12,262	13,130	13,328	11,728	6,835	11,727	9,722	10,865	12,150	1,412	125,103	481	134,839	473	2%	
貸出点数	図書	35,684	34,123	39,774	42,249	42,142	37,688	29,210	38,360	39,294	35,328	40,089	4,793	418,734	1,611	448,561	1,574	2%
	視聴覚資料	426	489	521	509	487	475	308	431	440	445	517	60	5,108	20	6,705	24	-16%
	紙芝居	406	432	563	512	484	499	316	435	425	381	445	41	4,939	19	6,577	23	-18%
	雑誌	1,528	1,533	1,561	1,474	1,459	1,426	1,097	1,554	1,534	1,624	1,644	191	16,625	64	18,074	63	1%
	合計	38,044	36,577	42,419	44,744	44,572	40,088	30,931	40,780	41,693	37,778	42,695	5,085	445,406	1,713	479,917	1,684	2%
新規登録者数	310	254	332	501	420	334	157	246	182	251	278	36	3,301	13	3,543	12	2%	
予約件数(個人)	1,324	1,174	1,329	1,560	1,405	1,298	958	1,269	1,325	1,273	1,516	328	14,759	57	15,089	53	7%	
A Vブース	73	74	78	159	184	152	42	64	69	47	89	7	1,038	4	1,623	6	-30%	
A Vルーム	11	9	13	9	10	13	6	17	12	11	10	0	121					
ギャラリー	12	0	0	5	8	18	14	18	12	0	3	1	91					
レファレンス	18	18	26	44	69	27	8	10	18	33	53	13	337	1	382	1		
学習室(17時時点)	195	255	241	295	359	188	223	346	239	207	260	28	2,836					
															3,054			



お知らせ

[ホーム](#) / [お知らせ](#) / [お知らせ - 詳細](#)

おすすめ紙芝居棚と布絵本棚を設置しました！



□蔵書の分類の見直し

<一般書 絵本・漫画・イラストの本（棚11番）>



<一般書 手芸・料理の本（棚16番）>



<児童書 動物の本（18番の棚）>



新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

1 経過

- (1) 令和2年4月10日（金）の愛知県緊急事態宣言を受けて、市教育委員会及び市災害対策本部と協議した結果、令和2年3月4日（水）から5月31日（日）まで中央図書館を臨時休館とした。
※長久手市中央図書館の管理及び運営に関する規則第4条第2項
- (2) 愛知県の緊急事態宣言期間が5月末までであることを踏まえ、再度関係機関と協議し、6月2日（火）から部分開館を開始した。
- (3) 開館時の感染対策
 - ア 出入口に設置した受付で体温や咳症状、マスク着用の確認
 - イ 三密を避けるための周知と2m間隔の利用者導線の確保
 - ウ 入館者の記録
 - エ 館内の定期的な換気、カウンターまわりに仕切りを設け、消毒での拭き作業実施
 - オ 利用時間の制限（30分まで）、入館者数の制限（100人まで）
※入館者数を考慮し、当初の利用は市内在住、在学、在勤、在園とした。
 - カ 返却された本の3日間の隔離
※「新しい生活様式」及び日本図書館協会の「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を参考

2 臨時休館中の実施内容

- (1) 蔵書点検 5月15日（金）から5月23日（土）まで8日間
結果：新規不明冊数51冊（前年度実績124冊）
- (2) 蔵書の分類の見直し（料理、児童書等の分類の細分化を実施）
- (3) 閉架の蔵書配置の見直し
- (4) ホームページでの情報提供を充実化（図書館関連Webサイトの紹介、中央図書館テーマ展示リストの提供など）
- (5) おすすめ紙芝居棚の設置、ビッグブックの増加

3 解除内容

(1) 第1段階

ア 提供したサービス

(ア) 貸出、返却、予約

※貸出は1人につき10冊4週間の特別貸出を実施

(イ) 新規登録

イ 提供不可のサービス

(ア) 本以外の閲覧（新聞、当月雑誌）

(イ) 閲覧席、いす、図書検索機、複写機の利用

(ウ) AVブースでの視聴（DVD・CD）

(エ) レファレンス、リクエスト申込み

(オ) 2階の利用（学習室等）

(カ) おはなし会等のイベント

(キ) 貸館

(2) 第2段階（6月19日から）

ア 提供したサービス

(ア) 市外広域地区の利用

(イ) レファレンス、リクエスト申込み

(ウ) 図書検索機（タッチ方式2台）の利用

イ 提供不可のサービス

提供した内容以外は第1段階から継続

※受付は第2段階で撤去

(3) 第3段階（7月3日から）

ア 提供したサービス

(ア) 新聞、雑誌の閲覧

(イ) 閲覧席、いすを半数程度で提供

(ウ) 複写機の利用

(エ) ブックスタートパックを該当者にカウンターで提供

イ 提供不可のサービス

提供した内容以外は第2段階から継続

4 その他

臨時休館期間が約3か月間の長期だったことを考慮し、6月と8月に閉館して第4火曜日に行う館内整理日を取りやめた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

1 目的

図書館パワーアップ事業として、読書環境の充実にに向けた取り組みを実施するのに必要な経費に充当する。

2 内容

(1) 令和2年度長久手市一般会計補正予算として予算要求

ア 図書資料消毒機購入事業（補正第5号）	1, 111千円
イ 図書ICチップ導入（補正第6号）	54, 890千円

(2) 事業内容

ア 図書資料消毒機購入事業

図書資料の消毒機を1台購入する。本に潜む菌を殺菌することにより、市民が安心して図書館の本を利用してもらうことができる。本のページ内に風をあて、紫外線を照射することで本全体の殺菌を行う。

※令和2年度中に設置予定。

イ 図書ICチップ導入

IC機器を導入し、貸出及び返却がセルフ方式で可能になる。人と接する時間を短くすることで、カウンター業務等での感染リスクを軽減する。導入する主な機器は、自動貸出機、自動返却機、持出し禁止ゲート、蔵書点検用の読取り機、ICチップ読取り機。

【メリット】

- (ア) 手続きにかかる時間が短縮
- (イ) プライバシーの配慮
- (ウ) 不明本対策
- (エ) 蔵書点検期間を短縮

※令和2年度に本にICチップを添付し、機器を設置する。サービスの開始は、令和3年度からを予定。（スケジュール概要は資料6）

イオンモール長久手に「図書返却ポスト」を新設しました

長久手市中央図書館の本を返却できる「図書返却ポスト」を、令和2年6月1日（月）にイオンモール長久手2階に新設しました。

設置場所	利用開始日時	利用可能時間
イオンモール長久手2階 HOPOST裏	令和2年6月1日 (月) 10:00～	イオンモール長久手営業日 10:00～22:00 ※営業時間短縮期間中は、専門店街営業時間内 にご利用が可能です。

<返却できるもの>

長久手市中央図書館の本・雑誌・紙芝居

<返却できないもの>

- ・長久手市中央図書館の視聴覚資料（DVD・CD・カセットテープ）、大型紙芝居、ビッグブック
- ・長久手市内の児童館、学校など、長久手市中央図書館以外の本
- ・他市町村の図書館で借りた本

<本の回収について>

回収日は図書館開館日の水曜・金曜・日曜日の週3回で、午前10時までに回収します。
図書館へ回収後、返却処理をします。したがって、回収日当日に入れられた分は、次回の回収で返却されることがあるため、返却処理は数日後となる場合もあります。ご了承ください。

詳しくは下のページもご覧ください。

[館外返却ポストのご案内](#)

[イオンモール長久手公式ホームページ<長久手市中央図書館の「図書返却ポスト」を設置いたしております>](#)



令和 2 年度事業概要

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策関連】

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4、5 月は臨時休館を実施した。また、6 月からはサービスを一部制限し部分開館している。そのため、下記の事業について内容を変更して実施、または延期や中止とした。

○蔵書点検

例年 2 月頃に実施しているが、臨時休館中の 5 月 15 日から 5 月 23 日の期間で実施した。

○おはなし会

4 月以降、すべて中止している。

○中学生美術展

学校の休校及びカリキュラムの都合により中止。

○小学校図書館見学（3 年生）

例年 5、6 月に実施しているが、中止または延期とした。代替の日程は検討中。

○その他の見学・職場体験・実習生

夏休み図書館見学ツアー、中学生（2 年生）の職場体験、大学生司書課程図書館実習、教職員研修については、相手方との調整の上、実施予定（延期や中止の可能性あり）

○学校連携事業会議

例年 7 月に開催しているが、会議を中止し、資料配布とした。

その他の事業については、下記のとおり実施、または実施予定。

1 会議

(1) 図書館運営協議会 年 2 回（7 月、2 月予定）

(2) めりーらいん会議（図書館連携による健康支援事業）年 3 回予定

連携館：愛知医科大学医学情報センター（主催）、瀬戸市立図書館、尾張旭市立図書館、日進市立図書館、長久手市中央図書館

2 図書業務

(1) 図書資料、地域資料、逐次刊行物、視聴覚資料等の収集、整理、保存、貸出

(2) 蔵書管理

図書の選書、発注、受入、蔵書データの整備など

(3) 利用者サービス

児童・中高生・障がい者向けサービス、レファレンス（資料照会）、本の予約・

リクエストなど

(4) 団体貸出

放課後子ども教室・児童クラブ・保育園・幼稚園などへの貸出

(5) 館内企画展示

自館企画、他課とのコラボレーション企画による特設コーナー

3 資料収集計画

(1) 図書 約 11,000 冊を収集予定

ア 中央図書館蔵書用

一般書	6,000 冊
児童書	3,300 冊
参考図書	150 冊
郷土資料	100 冊
紙芝居	100 組
中高生向図書	150 冊
計	9,800 冊

イ 学校連携及び児童館連携用

児童書	1,200 冊
-----	---------

(2) 視聴覚資料

DVD	30 点
C D	30 点
計	60 点

(3) 雑誌 107 誌

※平成 25 年度から雑誌スポンサー制度を導入

令和 2 年 6 月現在 11 事業者、22 誌

(4) 新聞 12 紙

4 子ども読書活動推進計画

第 2 次長久手市子ども読書活動推進計画

(対象年度：平成 30 年度から令和 4 年度まで)

【主要な取組】

- (1) ブックスタート事業
- (2) 中央図書館の読書環境づくり
- (3) 児童館連携事業
- (4) 学校連携事業
- (5) 保育園・幼稚園の読書環境づくり

5 行事

- | | |
|-------------------------|--------|
| (1) おはなし会（図書ボランティア等による） | 再開時期未定 |
| (2) 児童書企画イベント | 年1回 |
| (3) 企画展示会（美術展） | 年2回 |
| (4) 講座 | 年1回 |

6 図書ボランティアとの連携

- (1) 絵本などの読み聞かせ
- (2) 図書資料の修理
- (3) 図書資料の返却、書架整理

7 見学・職場体験・実習生

※相手方との調整の上、実施または延期・中止

- | | |
|-------------------|----------------|
| (1) 小学校図書館見学（3年生） | 各校年1回（3年生） |
| (2) 夏休み図書館見学ツアー | 図書館にて2回（小学生対象） |
| (3) 中学生の職場体験 | 各校年1回（2年生） |
| (4) 大学生司書課程図書館実習 | 年1回 |
| (5) 教職員研修 | 不定期 |

8 広報

- (1) 利用案内、図書館カレンダー等の作成、配布
- (2) 新刊リストの発行、ホームページへの掲載
- (3) 小学生向け（学年別）・幼児向け（2～3歳児）推薦書リストの発行
- (4) 市及び図書館ホームページへの掲載
- (5) 市広報紙への掲載

9 図書ICチップ導入

令和2年度中にICチップの本への添付、データ作成、関連機器（自動貸出機など）の設置を実施する。詳細は資料4、スケジュールは資料6のとおり。

10 その他

- (1) 学級文庫入替（学校連携事業） 3月

【学校連携司書の採用について】

市が洞小担当の学校連携司書が令和2年3月末で1名退職し、新たに1名を4月1日辞令交付。

令和2年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

(R2. 3/4~5/31 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館)

資料6

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果(6月)	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 新規読み聞かせボランティアの育成	読み聞かせの回数を増やしたい	団体を1団体(10人)増やす	1.新規ボランティアを対象とした勉強会(ボランティア同士の読み聞かせ披露と意見交換、おはなし会のプログラム作成など)を月1回実施。 2.事務局がフォローしながら、団体を立ち上げる。 3.新規ボランティアによる新たなおはなし会を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアや団体の活動を控えており、勉強会の実施は中止した。	勉強会の実施 中止 新規ボランティア団体立ち上げ 新規おはなし会開催												第2次子ども読書活動推進計画 基本目標I-2-(4)
2 本の展示の実施	本の魅力を伝える機会が少ない	テーマ展示本の貸出回転率を1.2とする(展示冊数の1.2倍)	1.図書館員が自身で企画した展示の実施。 2.閉架の図書も展示図書に組み込む。 3.選定したテーマに基づき本を専用スペースに2ヶ月単位で展示。 4.展示本の位置情報の変更入力処理や、人目を引くディスプレイをし、利用者が手に取りやすくする。	①棚27番(南玄関) 「漫画(長谷川町子生誕記念)」 ②北玄関棚 「あははのはなし」 ③棚19番(児童書架) 「自然はすごい!!」 ④-1 棚24番(カウンター前) 「ロングセラー絵本」 ④-2 棚24番(カウンター前) 「読み聞かせボランティアグループ、図書館、学校連携司書のおすすめ本」	展示中止 展示リストをホームページに掲載 テーマ展示本の貸出回転率(%) ①43% ②89% ③25% ④96% 97%											教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進	
3 不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数削減(前年度の蔵書点検時不明本冊数124冊、目標100冊)	1.不明化傾向に基づく本の配置換え(随時)。 2.本にマーキング(館所蔵を表示) 3.持ち出し発生書架に警告表示 4.「防犯カメラ設置中」等の表示の更新・場所替え(年3~4回) 5.職員の巡回による抑止力強化(1日2回程度)	・不明化傾向分析に基づく本の配置換えを継続。 ・本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 ・持ち出し発生書架内に警告表示を設置。 ・職員による閲覧室巡回を実施。	不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示) 職員等による閲覧室巡回 未実施 表示の総点検実施 集計と検証(毎月) 未実施 51冊 0冊 黄ばみ等の点検、位置変更など												
4 延滞対策事業	延滞本が多い	・月次集計(3日~3年)時点での延滞冊数を700冊以内とする。 ・20日以上30日未満の延滞冊数を300冊以内とする。	1.1日以上延滞者へ窓口で注意喚起。 2.延滞者に督促はがきを毎週郵送。白色はがき:15日以上30日未満 黄色はがき:30日以上100日未満 3.20日以上延滞者へ毎週督促電話をする。 4.40日以上延滞者は貸出禁止措置後、次回貸出時に職員からの厳重注意(マナーの説明、イエローカードを渡す)。 5.新規登録者に対する延滞注意喚起方法を導入する。	・100日以上延滞者への封書による督促をした。 ・臨時休館以前の返却日の延滞者への督促はがきを郵送した。 ・15日以上30日未満0冊 ・30日以上100日未満0冊	延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年)15日以上30日未満 該当なし 延滞者へ注意喚起カードを窓口で配布(通年) 該当なし 集計と検証(毎月)3日以上3年未満の合計 602冊 254冊 87冊												
5 図書ICチップ導入	貸出返却にかかる新型コロナウイルス対策が不十分	自動貸出機及び自動返却機を導入することで「人と接触しない」セルフ方式を運用し感染対策を図る。	1.ICチップを蔵書に添付、データ作成(約25万冊) 2.自動貸出機、自動返却機、持出禁止ゲート等の機器設置 3.IC蔵書データを図書館システムへ一括取込 4.機器の動作確認、職員研修(サービス開始は令和3年度からを予定)		打ち合わせ・契約事務 ICチップ蔵書に添付、データ作成 機器設置 ICデータ取込 動作確認・研修												新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度長久手市一般会計補正予算)

子ども読書活動推進計画 令和元年度進捗状況・令和2年度目標値一覧

資料 7

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和元年度 目標値	実績 (R2.3月末)	達成率 (R2.3月末現在)	令和2年度 目標値
1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進	1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1 乳幼児期からの読書活動の支援		乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートバック配付人数(年間)	400人	351人	88%	100人
		2 家庭読書の支援	○	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。	年齢別ブックリスト作成	幼児向け作成(2歳、3歳)	実施済	100%	幼児向け作成(3歳、4歳)
		3 地域の読書活動の支援		ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。	ボランティア団体への団体貸出(年間)	470冊	419冊	89%	50冊
	2 中央図書館(家庭・地域)における子どもの読書活動の推進	1 良質な図書の収集		専門的視点で司書が選定した良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	138,000冊	123,859冊	90%	50,000冊
		2 声かけレファレンス	○	本をさがしている子ども(保護者含む)に司書から主体的に声をかけ、児童書のレファレンスサービスを強化します。	学校連携司書が中央図書館で実施するレファレンス件数(年間)	155件	112件	72%	60件
		3 中央図書館がより身近な存在となる事業の企画		子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。	テーマ展示回数(年間)	15回	19回	100%	13回
		4 図書ボランティアとの協働		読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、連携します。	ボランティア登録者数(年間)	88人	81人	92%	85人
		5 児童書の魅力を保護者へ伝えるための企画を実施		おはなし会の開催日数を増やし、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。	イベント等の実施回数(年間)	75回	69回	92%	25回
	3 児童館(地域)などにおける子どもの読書活動の推進	1 中央図書館からの図書貸出		中央図書館から児童館に団体貸出(児童館)をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。団体貸出未実施の長久手西児童館、長久手市青少年児童センターへの提供を開始します。	児童館への団体貸出(児童館)(全6館)	青少年児童センター着手～完了団体貸出の継続 各館1回	実施済	100%	全6館の継続
		2 ボランティアによる読み聞かせ	○	読み聞かせに適した絵本を提供し、ボランティアによる児童館での読み聞かせをする体制を整えます。	児童館での読み聞かせをした館(全6館)	ボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。	2/6協議実施	100%	ボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。
	4 保育園・幼稚園(地域)における子どもの読書活動の推進	1 保護者などに読書活動の大切さを周知	○	家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。	園児対象のブックリスト配置(全19園)	1園で各1冊 幼児向け(2歳、3歳)リストを配布	実施済	100%	1園で各1冊 幼児向け(3歳、4歳)リストを配布
		2 読書と遊びを結びつけた取組	○	園での読み聞かせに、カルタなどのことば遊びの要素を入れた取り組みを充実させ、ふれ合いの中で楽しい体験ができるように支援します。また、中央図書館からの団体貸出によって、読み聞かせに適した絵本を増やします。	園職員へ選書のためのレファレンス実施(全19園)	2園	1園	50%	3園
	5 学校における子どもの読書活動の推進	1 学校連携司書の派遣		中央図書館から小中学校へ学校連携司書を派遣し、司書教諭と協働して学校図書館を活性化させ、利用を促します。学校連携司書の「1校につき1人の配置」を目指します。	学校連携司書の配置人数	1人増員の予算要求事務	R元年度予算要求済	100%	1人増員の予算要求事務
		2 学校連携司書による調べ学習の補助		学校連携司書が教職員と連携し、調べ学習のための本を中央図書館の蔵書から選定し提供することで、子どもの学習と教職員の授業を支援します。	年間の調べ学習用等の貸出冊数(小学校)	2,800冊	1,497冊	53%	700冊
			年間の調べ学習用等の貸出冊数(中学校)		160冊	85冊	53%	40冊	
		3 学校連携司書による読書案内		学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで、読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介し、さらに、学校のボランティアと協力し、朝読書や読み聞かせを実施し、学校図書館の貸出冊数の増加を図ります。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	151,000冊	141,726冊	94%	100,000冊
			年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)		9,000冊	11,401冊	100%	6,000冊	
	4 学校連携司書による企画展示		学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	1校あたりの年間のテーマ展示回数(小学校) 1校あたりの年間のテーマ展示回数(中学校)	小学校6回 中学校3回	22回 6回	100% 100%	小学校4回 中学校2回	

基本目標1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進の達成割合 R2.3月末現在 目標達成・・・ 88%

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和元年度 目標値	実績(R2.3月末)	達成率(R2.3月末現在)	令和2年度 目標値
2 子どもの読書環境の整備・充実 (本の見やすさ、対象別に強化)	1 中央図書館のサービスの充実	1 子どもの発達段階に応じた読書環境づくり		対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気のある空間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。	中央図書館の児童書コーナーの点検・調整(年間)	4回	5回	100%	4回
		2 中高生向けの図書の充実、読書環境づくり		中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した書棚をつくります。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	6,400冊	5,575冊	87%	3,000冊
		3 ホームページを通じた情報発信	○	ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。	年齢別の推薦本紹介ページの開設	小学生向けの完成と、幼児向け作成(2歳、3歳)	実施済	100%	幼児向け作成(3歳、4歳)
		4 障がいのある子どもへのサービス	○	点字絵本やさわる絵本などを収集し、障がいを持つ子どもや保護者へ提供します。	障がい児向け図書の提供	70冊	111冊	100%	120冊
		5 中央図書館からやや離れた地区に住む子どもたちへの読書環境づくり		中央図書館からやや離れた地区に住む子どもの読書環境を向上させるために、団体貸出の拠点数を増やします。	中央図書館から団体貸出する拠点の数	15か所	12か所	80%	13箇所
	2 児童館の読書環境の整備・充実	1 児童館利用者への本の紹介	○	児童館に来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。	年齢別ブックリストの配置	幼児向け作成(2歳、3歳)	実施済	100%	幼児向け作成(3歳、4歳)
		2 児童館図書室の環境整備		児童館図書室の本の配置やレイアウトの調整、新規に購入する本や除籍本の選定に中央図書館が協力をします。また、司書が選定した本を中央図書館から団体貸出(児童館)をすることで、図書室の魅力を高めます。	本の配置などの点検・調整(年間)	継続	実施済	100%	全6館年1回の継続
	3 保育園・幼稚園の読書環境の整備・充実	1 園内の図書コーナーの整備	○	園の図書コーナーを充実するため、年齢に応じたおすすめ本のブックリストの提供や読み聞かせに適した絵本や地域の民話などを中央図書館から紹介します。司書が図書コーナーづくりや絵本の選定に関するアドバイスをすることで、園の職員を支援します。	選書の意見交換と支援の年間実施園数(全7園)	2園	1園	50%	3園
		2 団体貸出登録		中央図書館の団体貸出カードを発行し、全ての園で活用するように周知し団体貸出を促します。	市内全ての園の団体登録数(全19園)	12園	10園	83%	11園
	4 学校図書館と中央図書館の連携体制の強化・充実	1 学校図書館の環境整備		学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定に中央図書館が協力し、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりを支援、アドバイスします。	学校図書館へ週4回訪問する学校数(小学校6校) 学校図書館へ週4回訪問する学校数(中学校3校)	1人増員の予算要求事務	R元年度予算要求済	100%	1人増員の予算要求事務
		2 中央図書館資料の学校への提供		中央図書館から学級文庫用として団体貸出(学校)をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。	団体貸出(学校)の冊数(年間)	7,430冊	7,290冊	98%	7,450冊
		3 学校連携司書による中央図書館の行事企画		学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトークなどのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。	中央図書館でのイベント参加者数(年間)	145人	101人	70%	20人
		4 学校図書館と中央図書館の情報共有	○	学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けにおすすめの本をホームページで紹介し、学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。	学校連携司書が薦める本をホームページで紹介する冊数(年間)	8冊	8冊	100%	12冊

基本目標2 子どもの読書環境の整備・充実(本の見やすさ、対象別に強化)の達成割合 R2.3月末現在 目標達成・・・ 90%

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和元年度 目標値	実績(R2.3月末)	達成率 (R2.3月末現在)	令和2年度 目標値	
3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及 (広く周知し、興味を集める)	1 普及活動の充実	1 読書手帳の普及		読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	200枚	650枚	100%	100枚	
					読書手帳の完了スタンプ数(年間)	173個	131個	76%	70個	
		2 「子ども読書の日」などの普及		「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、参加者増加を目指します。	「子ども読書の日」いちにおはなし会参加者数(年間)	155人	167人	100%	開催中止のため0人	
					3 保護者への周知	○	中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。	中央図書館のホームページで各施設で行われている読書活動を紹介	5件	5件
	4 各施設で読み聞かせイベントなどの実施		中央図書館内外での読み聞かせイベントなどを通し、読書の大切さを広めるよう広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	3,900人	2,490人	64%	700人		
				2 各種情報の収集・提供	1	図書情報などの収集・提供	○	子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。	閲覧室等へ随時、子ども読書に関わる情報を掲示する件数(年間)	2件
	3 優れた取組の紹介	1	図書ボランティアなどの活動を紹介	○	図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティアの活動状況を掲載	1種	実施済	100%	4種の掲載を継続
	基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める。)の達成割合 R2.3月末現在 目標達成・・・ 91%									
	令和元年度子ども読書活動推進計画 達成度合計 目標達成・・・ 89%									